

京都コーナーで  
平安京を調べよう！

Vol.23

調べもののおてつだいカウンター  
京都市中央図書館 参考図書室

今回は…【天文】に関する図書をご紹介します。

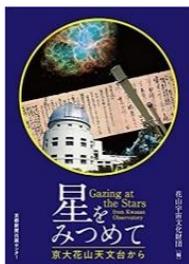
【天文】とは…天体における諸現象。天空に起こるさまざまな現象を観察し、  
吉凶を占ったり、暦法を考えたりすること。また、その術。

『大辞林 第四版』(三省堂)p.1903“天文”の項より

◆『室町時代の陰陽道と寺院社会』（木村 純子／著 勉誠出版）

請求記号 L/148.4/キ

室町時代の陰陽寮の組織体制や、当時の陰陽師を網羅した「陰陽家系図」  
も収録されており、大変見応えのある一冊です。



◆『星をみつめて』（花山宇宙文化財団ほか／編 京都新聞出版センター）

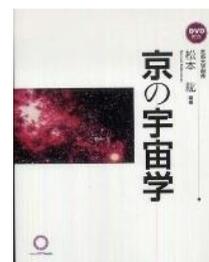
請求記号 L/440.4/ホ

天文学の歴史から最新の雑学まで一度に読める、楽しい本です。  
また、月ごとに紹介された第6章 季節の星座のページは、  
夜空を見上げながら読んでみてはいかがでしょうか。

◆『京の宇宙学』（松本 紘／著 ナノオプト・メディア）

請求記号 L/440.4/マ

宇宙に関する4つの研究テーマを理学と工学の分野から解説する一冊。  
『明月記』に出てくる超新星の正体についての解説や、  
暦を作っていた安倍家(土御門家)のお話も収録されています。



◆『陰陽師 安倍晴明に出会う旅』（吉田 憲右／著 有限会社コスミック出版）

請求記号 L/289.1/ア

「陰陽師」といえば「安倍晴明」。  
この本は京都だけでなく、大阪、奈良など日本全国の安倍晴明に縁のある場所が  
紹介されています。各所にまつわるエピソードも必見です。



この他にも、関連する図書を所蔵しています。  
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。  
貸出・閲覧や、調べもののお手伝いをご希望の方は、  
**中央図書館 2階・参考図書室へお越しください。**



2023.5 作成